

本学の先生方が
執筆された新刊情報をお届け！

RECOMMEND BOOKS

2025 WINTER

※価格は税別

03

會田 康範(経済学科非常勤講師)共編著
『「歴史的思考」へのいざない
人びとをつくる歴史の営み』
戎光祥出版 2024年8月 3000円
高校・大学の歴史教育で求められる「歴史的思考力」とはなにか?学習指導要領にも頻出する歴史的思考力の育成のために、教員が知っておくべき教育理論について実践を踏まえ解説。現職の教員に加え、教員を目指す学生に読んでいただきたい書籍です。



04

秋本 弘章(経済学科教授)分担執筆
『世界のしくみが楽しくわかる13歳からの世界地図』
幻冬舎 2024年9月 1700円
80の国と地域を写真、地図、データを用いて解説。日本との関係性を記載しているのでニュースのなぜ?がまるごとわかります。大人も一緒に楽しめる1冊です。



05

會田 康範(経済学科非常勤講師)共編著
『文化財が語る 日本の歴史 社会・文化篇』
雄山閣 2024年9月 3000円
原始・古代・中世・近世、近現代と時代を通して文化財を紹介。土器・仏像・経典・梵鐘・荘園遺跡・説話・古道・浮世絵・墓石・金箔・ハンセン病療養所の機関跡・天然記念物としての植物・書簡・ホーロー看板などを取り上げ、日本の社会・文化史の実像にせまります。



06

松本 健太郎(英語学科教授)分担執筆
『Entertainment Media and Communication』
De Gruyter Mouton 2024年10月 220 €
本書はエンターテインメント・メディアとコミュニケーションに関する学問を幅広く、パランスの取れた視点から紹介。寄稿者たちは、その基礎を探究し、重要な概念と理論を無数のレンズを通して定義した上で、デジタルメディアに関するユニークな考察を論じます。



07

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)翻訳
『ミャンマー 証言詩集 1988-2021』
いくら新芽を摘んでも春は止まらない』
港の人 2024年10月 2200円
ミャンマー軍事政権下での詩と散文。詩人たちは怒りと哀しみ、異議申し立てを訴える。文字に記された言葉は力強く、ミャンマーの詩人たちの魂は燃え続けています。ミャンマーを代表するコウコウテツ、ケーザウィン、エーポーカインほか32名の詩人の詩28篇とエッセイ12篇を収録。



08

野崎 亜紀子(総合政策学科教授)著
『〈つながり〉のリベラリズム 一規範的関係の理論』
勁草書房 2024年10月 5000円
他者に依存するニーズを必ず持つ個人をリベラリズムは捉えられるのか?ケア論を中心に批判が高まっている。本書は、言語化されないままに近代法体系に組み込まれてきた〈向き合ってしまった者〉との関係と、そのなかにある個人を、法の周縁から救い出す。個人を尊重する「自由な社会」の可能性を考える、旧く新しい構想。



09

一之瀬 高博(国際関係法学科教授)共編著、鈴木 淳一(国際関係法学科教授)共著
『国際司法裁判所 判決と意見・第六巻(2017-22年)』
国際書院 2024年11月 9000円
前巻第5巻刊行から6年の歳月をかけて、ここに第6巻が刊行されました。国際司法裁判所の判決および勧告的意見は戦後国際法学の理論的・実践的に熟成されてきており、国際法学を学ぶ上で不可欠の存在になってきています。



10

木村 佐千子(ドイツ語学科教授)日本語解説
『J.S.バッハ:フーガの技法 BWV1080』
BIS 2024年11月 5000円
鈴木雅明が「フーガの技法」を録音。J.S.バッハが晩年、作曲に取り組んだ「フーガの技法」。バッハは単一の主題から対位法技法を用いてどれほど多様な作品が作り出せるかを追求。しかし1750年にバッハが亡くなったため、未完となった謎多き作品です。木村佐千子教授が日本語版解説書を執筆しています。



本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊がありましたら、総合企画課までご連絡ください。

2025年度 学費について

ご案内

■口座振替の方

入学年度		2019年度以降	2018年度以降
春学期	口座振替日	4月14日	4月10日
	手続締切※	3月20日	—
秋学期	口座振替日	9月12日	9月10日
	手続締切※	8月20日	—

口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。

学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

本学では原則、口座振替での学費納入となっています。「Web口座振替受付サービス」へご登録ください。すでに口座振替をご利用の方で、振替口座の変更を希望する場合も、改めて手続きをお願いいたします。

Web口座振替受付サービスの概要

- ★Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)
- ★口座振替日:春学期4月14日、秋学期9月12日
- ★3月20日までにお手続きいただければ2025年度春学期の学費から口座振替となります。
- ★手数料は大学負担となります。



(Web口座振替受付)

■銀行振込の方

	春学期	秋学期
振込用紙の発送	4月1日	9月1日
納入期限	4月末日	9月末日

訃報

生前のご功績を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

岡田 博(おかだ・ひろし)
名誉教授

2024年9月23日死去、91歳
1983年 教授
2000年 経済学科長
2003年 名誉教授

鈴木 道彦(すずき・みちひこ)
名誉教授

2024年11月11日死去、95歳
1989年 教授
1991年 フランス語学科長
1994年 図書館長
2000年 名誉教授

2024年度学友会四本部合同交代式開催

11月27日、学生センター1階雄飛ホールにて、2024年度学友会四本部合同交代式が執り行われた。この式典は2024年12月より新たに学友会各本部の正副委員長となる学生達に、学友会会長(学長)が役職を委嘱する節目の行事。当日は前沢浩子学友会会長をはじめとする大学教職員や学友会新役員の他、来賓として一般社団法人獨協大学同窓会から菅沼豊会長代行らが出席した。交代式では、学友会新役員に対し、前沢学長から委嘱状と激励の言葉が送られた。第61期学友会委員長の林遼果さん(独2年)は、「学友会活動を通じて、多くの学生がつながり合える場を作れるよう尽力してまいります」と意気込みを語った。

学友会 新役員一覧

任期:2024年12月1日~2025年11月30日

第61期学友会



委員長 副委員長

第61期文化会



委員長 副委員長

第61期体育会



委員長 副委員長

第51期愛好会



委員長 副委員長

第61期監査団



団長 副団長

ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.113

獨協大学図書館の歴史を振り返ろう!

獨協大学は、2024年10月22日に創立60周年を迎えました。
大学の創立記念に関連して、今回は主要なトピックに注目しながら、図書館のこれまでの歩みを振り返ってみましょう。

図書室の開設

本部棟(当時)の1、2階にある小さなスペースで開設。初代学長・天野貞祐先生から寄贈された蔵書コレクション約3,000冊を含め、当初の蔵書数は25,000冊ほどでした。

サービスの電算化

パソコンの導入など、学内における情報インフラが整備される中で、図書館では貸出・返却処理を電算化し、情報検索システムを導入。利便性が向上し、利用者が増えました。

図書館学生サポーター「BiVS(ビボス)」の誕生

学生の視点に基づいた魅力あるサービスを行うために2015年から始動。職員と協働しながら、より良い図書館づくりを目指して活動しており、2025年度には結成10周年を迎えます!



図書館の開館

独立棟として開館。館内には、共同研究室やレコード鑑賞室のほか、収容人数1,100名の講堂もありました。この講堂で卒業式が執り行われたことも。



1968年 旧図書館の様子(開館記念冊子より)

新図書館の開館

大学創立40周年を記念して建設された「天野貞祐記念館」内に開館。免費構造、自動書庫、ラーニング・commonsなど、先進的な設備を有する大学図書館へとリニューアルしました。

非来館型サービスの拡充

電子書籍、電子ジャーナル、データベース、オンラインレファレンスの提供など、非来館型サービスを拡充。大学の外からも図書館サービスが利用できるように。蔵書数は100万冊を突破!



大学の学び・研究を支える「知の拠点」として、進化を続けていきます。これからも、図書館をたくさん利用してくださいね♪